

## 令和7年度研究推進計画

### 1 研究主題、研究内容・方法について

#### (1) 研究主題

主体的に学び、考えを深め合う児童の育成  
～教師のファシリテーションがつなぐ「学び合い」を充実させた授業を目指して～

#### (2) 研究主題設定の理由

昨年度、研究主題を「主体的に学び、考えを深め合う児童生徒の育成～「学び合い」を充実させた授業づくりを通して～」と設定し、「学び合い」を中心に研修を深め、単元構成や問いの設定について検討を重ねながら授業づくりに取り組んだ。その結果、2学期に行った児童生徒アンケートの「授業の内容が理解できる」（中学校）「授業の内容が分かる」（小学校）の項目において、年度は小中ともに肯定的回答割合が小学校で93%、中学校で95%であり一定の成果が得られた。

一方、広島県児童生徒学習意識等調査の結果からは「学習を最後までやりとげてうれしかったことがある」（小学校対県比-2.5%）ことに課題が見られた。一方中学校では「自分の考えとその理由を明らかにして、相手に分かりやすく伝えるように発表をしている。」（中学校対県比+5.3%）で県平均を上回っているが、「授業では、自分の考えを積極的に伝えている」（中学校対県比-10.2%）ことに課題が見られた。これらのことから、互いの良さを認め合え、良好な人間関係に支えられた中で自分の考えを深めたり広げたりして、問題解決の喜びを味わわせることや伝える喜びが必要であるといえる。

令和6年度の全国学力・学習状況調査の結果では、小学校の平均正答率は、国語科では対全国比12.3ポイント、算数科では7.6ポイント上回っている。国語科ではすべての設問において全国を下回るものはなかったものの、算数科では「道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述すること」に課題が見られる。これらのことから、思考・判断力を高め、それらを的確に説明する力を伸ばす必要があることが分かった。中学校では、平均正答率が国語科では対全国比0.9ポイント、数学科では3.5ポイントを上回っている。その中で、国語科では「目的に応じて必要な情報に着目して要約することができる」に課題が見られ、数学科では、「統合的・発展的に考え、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明することができる」、「筋道を立てて考え、証明することができる」に課題が見られた。各教科の課題も全教科で共有して学校全体の課題として捉え、改善に向けての方策を9年間の見通しをもって練るとともに、それぞれの教科で身に付けた資質・能力を、学習や生活の様々な場面で積極的に生かす態度を育成する取組を継続していくことが必要であるといえる。

これらの実態をふまえ、今年度も、昨年度と同じく授業改善と学習観の改善を進める「学力向上部」と、学習の基盤となる「人間関係づくり」や「健康づくり」を進める「生活向上部」の2つの部会を引き続き設定した。主体的な学び、深い学びを軸に、各部会ともに、3つの資質・能力を活用し身に付けさせながら、課題を設定し、自らの考えを深め合う児童・生徒を育成したいと考え、研究テーマを設定した。

#### (3) 研究仮説

小中一貫教育を基に、「付けたい資質・能力」を意識し、教師が良きファシリテーターとなり、個の学びを土台とした「学び合いを大切にしたい授業」を充実させていけば、主体的に学び、考えを深め合う児童・生徒を育てることができるであろう。

#### (4) 研究内容

##### ア 教師が付けたい力と評価方法を明確にする取組

- ・ 教師が、単元を構想し、育成したい資質・能力を設定する。
- ・ 本時のゴールで目指す児童生徒の姿や、どこでどのように評価するかを具体化する。

##### イ 課題設定の充実を図る取組

- ・ 本時のめあてに必然性を感じ、興味をもって学べるよう、学習課題や場の設定を工夫する。
- ・ 児童生徒に、本時の授業のゴールをイメージさせ、児童生徒が主体的に学びを進められるよう教師がファシリテートする。

##### ウ 「学び合い」の充実を図る取組

- ・ 一人でじっくり考える場（自力解決）、自分の考えを伝える、友達の見解と比べる、自分の考えを広げたり深めたりする場（集団解決）を設定する。
- ・ 問いや切り返し発問を足掛かりとして、他者とかかわりながら課題解決に向かう場面を工夫する。

- ・ ICTを効果的に活用する。
- ・ 授業参観シートの活用

エ 「振り返り」の充実を図る取組

- ・ 「大切」「振り返り」を確実に行う。
- ・ 「振り返り」の視点や振り返りの内容を共有する。
- ・ キュビナを活用し、個に応じた基礎学力や応用力の定着を図る。

(5) 検証の指標

ア 児童や教師の意識調査の実施と分析

- ・ 授業に関わる児童の意識調査の実施と分析（6月、11月）
- ・ 授業に関わる教師の意識調査の実施と分析（6月、11月）

イ 理論研修・ワークショップ研修

- ・ 「学び合い」の更なる充実に関わる理論研修・ワークショップの実施

ウ 授業研究による授業分析

- ・ 学習指導案の検討及び模擬授業を実施
- ・ 授業研究と協議会の実施

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研究教科は、国語科・算数科・音楽科などの複数教科とする。</li> <li>・ 研究授業をする際は、部での授業事前研修及び模擬授業を行う。</li> <li>・ 研究授業をする際は、学年での先行授業を行い、全クラスが授業にかかわっていく。</li> <li>・ 研究授業前後に、担当部会が成果・課題・改善点を示した「研究通信」を作成して配付する。</li> </ul> |
|---|

## 2 検証計画

児童や教師の意識調査の実施と分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童の意識調査において、「授業の内容がよく分かる。」と答えた児童の割合を90%以上にする。</li> <li>・ 児童の意識調査において、「自分の考えをほかの人に説明をすることができる。」「授業で友達と話し合うことはためになるし、楽しいと思う。」「授業では友達と話し合うなどして自分の考えを深めたり広げたりしている。」と答えた児童の割合を80%以上にする。</li> <li>・ 児童の意識調査において、「めあては何かをつかんでいる。」「振り返りで何を学んだかを確かめている。」と答えた児童の割合を85%以上にする。</li> <li>・ 授業に関わる教師の意識調査において、全ての項目で6月より12月の肯定的評価が上がっている。</li> </ul>
理論研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「学び合い」の充実に関わる研修を2回以上行う。</li> </ul>
授業研究による授業分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国語科において、1学期末、2学期末のまとめのテストで、「読む」の通過率80%以上の割合を75%以上にする。算数科において、1学期末、2学期末のまとめのテストで、「技能」「知識・理解」の通過率80%以上の割合を80%以上にする。「数学的な考え方」の通過率80%以上の割合を70%以上にする。通過率40%以下の児童の割合を、前学年同一集団のより減らす。</li> <li>・ 標準学力調査で、前学年同一集団の標準スコアを上回る。</li> <li>・ 授業参観者による4段階評価で平均3以上である。</li> </ul>

### 3 校内研修計画

月	研 修 内 容
<b>1学期の研修目標</b> ○ 本校の課題と研究推進の方向性を共有する。 ○ 白岳中学校区「学び合い7」「話合いのポイント」を基に、「学び合い」の基本を徹底的に指導する。 ○ 計画に沿って学習指導案の検討・模擬授業・先行授業・授業研究を行う。 ○ 1学期の成果、課題、改善案をまとめる。	
4月	理論研修（研究の理論）・学習指導（ノート指導・板書・配付しているカード類）の形式についての研修・「研究推進計画」について
4月	ICT, 「学び合い」研修 学習指導案について
5月	「考えを深め合う児童の『学び合い』の姿」ワークショップ
6月	「学び合い」の充実に関わる理論研修①
第1回 授業に関わる児童意識調査・教師意識調査実施	
7月末	1学期まとめのテスト入力・提出・分析
8月中旬に 2学期の授業事前研修・模擬授業 「ICTを用いた学び合い」「教師のファシリテートと発問」などの研修 全国学力・学習状況調査の結果分析・改善計画	
8月	2学期の授業事前研修（部会） 模擬授業（部会）
<b>2学期の研修目標</b> ○ 1学期の成果・課題を受けて、より研修を深める。 ○ 白岳中学校区「学び合い7」「話合いのポイント」を基に、「学び合い」の充実を図る。 ○ 計画に沿って先行授業・授業研究を行い、成果と課題をまとめる。	
9月中旬に 4, 5, 6年生 学習観レベルアップ講座	
10月中旬に 第1回 自主学习ノート検定 4, 5, 6年生	
10・11月	授業研究・協議会（部会）
11月	授業研究・協議会（全体）
12月中旬に 第2回 授業に関わる児童意識調査・教師意識調査実施	
12月末	2学期まとめのテスト入力・提出・分析
<b>3学期の研修目標</b> ○ 1年間の実践を振り返り、成果と課題を明らかにする。	
2月中旬に 3年生 学習観レベルアップ講座 第2回 自主学习ノート検定 3, 4, 5, 6年生 標準学力調査 分析・改善点まとめ, 報告 次年度 研究推進計画の立案	